

第24回
近江八幡市安土町地域自治区地域協議会
会議録

近江八幡市安土町地域自治区地域協議会事務局

第 24 回（平成 24 年度第 3 回）安土町地域自治区地域協議会 次第

日 時：平成 24 年 6 月 20 日（水）午後 2 時

場 所：安土コミュニティ防災センター 2 階会議室

1. 開 会

2. 経過報告

3. 報告事項及び協議事項

- (1) 安土駅周辺整備計画に対するパブリックコメント募集について

＜総合政策部／安土駅・周辺整備推進室＞

- (2) 安土・老蘇幼稚園の通園バスについて

＜福祉子ども部／幼児課＞

- (3) 平成 24 年度予算の概要について

＜安土町総合支所／地域振興課、住民福祉課、産業建設課、文化体育振興課＞

- (4) 合併協定項目の未調整項目について

＜安土町総合支所／地域振興課＞

- (5) まちづくり協議会の進捗状況について

＜安土町総合支所／地域振興課＞

4. その他（連絡事項等）

5. 閉 会

会議録

●会議の名称	安土町地域自治区地域協議会 第24回（平成24年度第3回）定例会
●開催場所	近江八幡市安土コミュニティ防災センター2階会議室
●開催日時	平成24年6月20日（水） 14:00～17:40
●出席者 （委員等）	大林輝男会長、岡山かよ子副会長、井上芳夫委員、岡田彦士委員、志井和美委員、城念久子委員、茶野初美委員、藤井金次郎委員、水音治郎委員、山田靖弘委員、宗野隆俊アドバイザー
（説明者等）	総合政策部 安土駅・周辺整備推進室…小西室長、太田主幹 福祉子ども部 幼児課…津田理事、江南次長兼課長、岡田課長補佐 安土町総合支所 地域振興課…福永次長兼課長、大橋課長補佐 住民福祉課…中村参事 産業建設課…嶋川課長 文化体育振興課…富岡課長
（事務局）	安土町総合支所…木野地域自治区長 地域振興課…福永次長兼課長、大橋課長補佐、安部副主幹、森津主査
●議題及び議事	
事務局	ただ今より、第24回安土町地域自治区地域協議会を開催する。
会長	（あいさつ）
事務局	ありがとうございました。 本日の会議について、全員出席ですので、「近江八幡市及び蒲生郡安土町の廃置分合に伴う地域自治区及び地域自治区の区長の設置に関する協議書」第11条第3項の規定により、会議が成立したことをご報告申し上げます。 それでは、これより議事に入る。会議の議長については同じく協議書の規定に基づき、会長にお願いする。
会長	広報編集部会は、この間、開催されていないので、会議運営部会について私から報告する。 6月6日に会議運営部会を開催し、本日の議事について協議した。地域協議会についての学習会も企画した。

安土幼稚園と老蘇幼稚園の通園バスについては部会でも議論したが、担当課から、第 23 回定例会で協議し、それらを取りまとめた現状を報告したいという申し出があったので、議題に加えた。

また、本日の次第には無いが、安土駅周辺整備計画に対するパブリックコメント募集について説明したいと担当室より申し出があったので、議題に加えた。

次の会議運営部会は、7月5日に開催する。

意見箱の意見は新たに5月24日付けで1件あった。3月10日付けのものと合わせて別紙のとおり回答したい。回答案について熟読をお願いしたい。

本日の議事について、次第では資料1から4の順番になっているが、まずは、安土駅周辺整備計画に対するパブリックコメント募集について報告していただき、次に安土幼稚園と老蘇幼稚園の通園バスについて取り上げたい。なお、時間の都合上、安土駅周辺整備計画に対するパブリックコメント募集については、報告のみとする。

会長

それでは、安土駅周辺整備計画に対するパブリックコメント募集について安土駅・周辺整備推進室より報告いただく。

安土駅・周辺整備推進室

(資料に基づき説明)

会長

本事業については、合併後ただちに整備促進会議が立ち上げられ、視察や議論を踏まえて昨年度、基本設計が作られた。その計画について、7月6日までパブリックコメントが募集されているという説明だ。

念願の駅改修である。今回は、駅を良く使いたいという前向きな思いを夢を結ぶ安土の会及びフォーラム・安土駅実行委員会から報告を聞いた。パブリックコメントの結果については、後日報告いただくということでこの件は以上とする。

会長

次に、第 23 回定例会で通園バスについて協議し、それらを内部で検討協議された結果について、担当課より報告をいただく。

幼児課

(概要説明)

幼児課

(資料に基づき説明)

会長

第 23 回定例会で、合併協定における新市での協議事項となっていること、施策の公平性、サービスの整合性に欠けること、利用者が年々減少して特定少数者に対する事業となっていること、行政改革の観点から受益者負担の原則に即して

いないことを中心に担当から説明された。それらに対し本会から出された意見について検討したのが資料1である。

まず、気付いた点として、資料1の左上の項目名は、意見・要望ではなく、意見・提案が適切であろうかと思う。

その他、この件について、皆さんのご意見をお願いしたい。

委員 資料1の②の検討内容に、暫定期間のみ適用という表現があるが、どういう意味か。

幼児課 平成27年度から廃止したいと考えているので、平成25、26年度の2年間についてという意味である。現在、市民バスにおける小中学校児童の減免等は市全体での取扱いなので、今回の通園バス見直しにかかる代替案の永久的な措置とは考えていない。

委員 意向調査の現状と課題の⑤の表現について、園児1人当たりのコストと総コストが同一文に混同されており、わかりづらい。

幼児課 ④の説明と重複しているので、1か月1万円という表現を削除して、昨年度約700万円の市費という表現に改めたい。

委員 1か月園児1人1万円の経費なら、それに利用者数57人と12か月を乗算すると約700万円になる。園児1人年間12万円の市費を上乗せして57人が利用していると書けば分かりやすい。

副会長 昨年度の経費といつの時点での利用者数かを明記した方がわかりやすい。

委員 代替案シミュレーションの中で、運行関係のみ部分委託にしても870万円かかると試算されている。これまでの委託料940万円はそれほど高くはなかったということか。

委員 利用者数の減少はどんな理由なのか。園児の減少が主な原因なのか。

幼児課 園児数は、大きな増減はない。自家用車の利用が増えている、安土幼稚園は住宅開発もあり微増である。従来の子園バス利用者が減っている。

幼児課 前回の資料4によれば、平成19年度の園児数227人でバス利用者は68人、平成24年度は園児数224人でバス利用者は57人である。5年で利用者は約10人減少している。

委員	<p>バスが必要不可欠な人への救済措置はどのように考えているのか。タクシー利用の場合は、8人で130万円かかるという試算である。救済措置は難しいと思う。行政としては、どのような代替策がいいと考えているのか。</p>
幼児課	<p>どの代替案がよいかという考えは今は持っていない。</p> <p>意向調査をして、通園方法があるのか、各家庭ではどのように考えていただけるのかということ把握した上で、次の段階に進みたいと考えている。</p>
委員	<p>意向調査の結果を踏まえて、利用者の救済措置を十分検討していただきたい。</p>
会長	<p>ただ今、各委員から文言や表現について意見があった。修正は可能か。</p>
幼児課	<p>現状と課題の⑤をわかりやすく修正する。</p>
会長	<p>児童数224名のうち57名利用と記載しているが、平成24年4月と明記することを検討してほしい。平成19年度227人で利用者は68人と比較できるようにしたらどうか。</p> <p>今後のスケジュールにある6月25日の事前説明とは直接利用者に説明するのか。6月27日の意向調査はどのように送るのか。</p>
幼児課	<p>6月25日は両幼稚園のPTA正副会長6人に対して安土支所で意向調査の実施について説明する。</p> <p>6月27日に幼稚園を通して発送し、提出は郵送で市役所に送っていただく。</p>
副会長	<p>廃止された場合、自家用車で送迎が増えるだろう。車で送迎となると駐車スペースもない。その点も考えてほしい。</p> <p>幼稚園は迎えに来た親が幼稚園の前でずっと会話し滞留していることが多い。</p>
幼児課	<p>仮に、通園バスを廃止した場合、徒歩、自転車、通園バスの代替策をどう整備するか。意見を聞いてできることは検討したい。アンケートは利用者の推移、通園バスの経緯についての説明を入れたい。年度も入れてわかりやすくする。</p>
幼児課	<p>意向調査の設問9については2案ある。どちらがよいか意見を伺いたい。</p>
委員	<p>通勤途上なので乗せてあげるといふ人がいたら、金一封でお願いしてはどうか。「ヘブンズパスポート」という取り組みのように、地域の人の善意を活かすことを自治会やまちづくり協議会で考えてはどうか。</p>

会長 行きだけでなく迎えをどうするか、あるいは、送迎と通勤の時間帯の整合をどうするかという課題もあり、難しい面もあるとは思いますが、今後この案も視野に入れてはどうか。

幼児課 いずれにしても、直ちに廃止するという事は難しいと考えている。一定の期間を検討する。代替策を検討する期間も必要と考えている。

副会長 設問9は、担当課が修正した案でよいだろう。

委員 同意であり、担当課が修正した案でよい。

委員 私も同意である。この事業の話を聞く度に旧近江八幡市の保護者はしっかりされているという印象を持つ。

委員 現状と課題の文章は、常体で表現が固い。敬体に統一してはどうか。設問9については、見直しが望ましいか、でいいと思う。

委員 赤こんバスは利用状況が低いので、もう少し弱者を救える公共バスにしてほしい。必要な人にニーズに合った運行を考えるべき。オンデマンドな対応をまちづくり協議会で担うといったことは考えられないのか。

アドバイザー 設問9については、担当者が自信を持って聞ける内容にすればどちらでもよい。
設問10の自由記述はもっと大きく記入欄を設けるべきである。いろいろなアイデアが出てくる場所なので大きい方がよい。用紙の半分くらいでもよいだろう。代替案についてよい意見が出てくるかもしれない。

会長 設問9については、何が聞きたいのかが肝要。状況を把握している担当者が適切と思うものでよいと思う。設問10は記入しやすい工夫をしてほしい。
市民バスについて、安土小1・2年生4人が無料で利用している。その4人が通園バスを使っていたのか知りたい。

幼児課 お尋ねの件は、把握していない。

委員 バス事業者は通園バスが廃止になるとバスが不要になる。バスを買い取るなどほしくないのか。

幼児課	<p>買い上げが可能か契約担当者に確認したい。中古になると走行距離を見て廉価な車両を買うことになる。</p> <p>そもそも業者が使用していたバスを買い取ることが妥当かどうかも検討する必要がある。</p>
委員	<p>バスの運転手や従業員はどうなるのか。</p>
幼児課	<p>長い年数を運行いただいている。今日までの経過を踏まえて業者とも話をしていく中で出てくる課題である。今日までの契約もある。運行事業、保護者、業者の3つの側面で考えていきたい。</p>
委員	<p>これまで運行に協力してくれていた業者であり、しっかり対応してほしい。</p>
会長	<p>8月の定例会で報告があると思うので、再度議論したい。この件については以上とする。</p> <p>暫時休憩する。</p>
会長	<p>(再開 16:40)</p> <p>再開する。</p> <p>次に平成 24 年度安土地域自治区の予算の概要について地域振興課、住民福祉課、産業建設課、文化体育振興課の順に説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>(概要説明)</p>
地域振興課	<p>(資料に基づき説明 地域振興課)</p>
住民福祉課	<p>(資料に基づき説明 住民福祉課)</p>
産業建設課	<p>(資料に基づき説明 産業建設課)</p>
文化体育振興課	<p>(資料に基づき説明 文化体育振興課)</p>
委員	<p>国際交流事業の予算が減額されている。前年度との違いは何か。</p>
地域振興課	<p>予算減額分は人件費である。国際交流員が平成 24 年度は7月までの任期だったので、その分減額してある。</p>
副会長	<p>国際交流員について、今後は置かないのか。</p>

地域振興課

今後は召致しない。

委員

国際交流員召致にかかる経費は国費でまかなわれるのではないか。

地域振興課

普通交付税に算入されている。財源の取扱は一般財源である。

委員

河川改良事業について、減額の理由は何か。

豊かな杜づくり隊について、安土では具体的なビジョンはあるのか。

西の湖がラムサール条約に登録された時に、西の湖環境保全協議会が出来て予算も計上されたはずだが、その後どうなっているのか。安土のまちづくり協議会でも取り組んでほしい。野鳥の会などの団体もあるのにもったいない。

産業建設課

河川改良事業については、急に必要が生じた時に対応する予算であり、必要に応じて補正する。

林業振興については、山が集落や個人で管理できなくなっている。集落と民家との間の風通しをよくする指導者を杜づくり隊として組織し、石寺区の山すそで研修するなどして人材育成に取り組んでいる。

委員

杜づくり隊の取り組みは、安土から広げるのか。

産業建設課

安土は個人の山が多い。近江八幡は財産区、国有林が多い。近江八幡には特定の山を管理するボランティアもいるが、その山が好きでボランティアをされている。

委員

指定管理について、基準は何か。文化体育施設を指定管理にできるのに、やすらぎホールはなぜできないのか。どういう基準で指定管理にするのか。

事務局

事業診断などで、人的・経済的側面、活用面を総合的に見て、民間がやるか、官がやるかを選択する。

委員

誰が決定するのか。指定管理とする基準は何か。やすらぎホールはなぜ指定管理者制度を活用していないのか。

事務局

決定は市長である。

事務局

基準について、例えば、やすらぎホールについては収益事業が見込みにくい一方、文芸の郷は収益事業が見込める。そういった受託者の裁量で収益を増やす余

地があるかどうか、指定管理者制度がなじむかどうかの一つの基準になるだろう。

全ての施設を指定管理にするわけではない。制度になじみやすいかという基準で選定すると、文化・観光施設が多くなる傾向だ。

事務局

受託者が見込めるカリサーチも必要である。

委員

公共施設の管理活用について、民間に任せた方がよいものが指定管理者制度になじむ。

委員

指定管理にできない場合は売却もあるのか。

事務局

あり得る。

会長

やすらぎホールは平成 23 年公開事業診断で、平成 24 年度までの活用となっている。平成 25 年度は地元有効活用か、どうなるのか。

地域自治区長

やすらぎホールは、事業診断では、公で直接管理しなくてもよいという判定であるが、地域としては必要な施設である、と診断された。地域のいろんな団体で有効活用を模索してはどうかということになっている。

1 年かけての各団体との協議に入っている。いずれ本会にも報告していきたい。

事務局

都市計画マスタープランの中で、西の湖の活用や B&G 海洋センター等周辺施設との連携も想定されている。そういった都市計画の位置付けの中で進めていく。

地域自治区長

公的な施設として作ったものであっても、時代の流れの中でそのままではよいか検討が求められている。

委員

安土は文化と歴史を生かすべきであり、まちづくり協議会でもそれをめざしたい。

市の観光施策は、本庁の文化観光課が政策的に進めるものであるが、安土支所の文化体育振興課が文芸の郷などを所管しているなど、一体的に取り組めていない。このような形で文化観光施策ができるのか疑問だ。

せっかく合併したのに、近江八幡と一体的な安土のまちづくりができるのか不安。このままでは旧来のままである。

安土を取り込んで、全国に発信力がある近江八幡市を目指してほしい。

委員	信長サミットと4城連携事業との関連はどうなっているか。
地域振興課	今は別になっている。当課からも連携するように申し入れしている。
委員	屏風の調査費はどうなっているか。市はどう動いているのか。情報開示してほしい。
地域振興課	<p>平成18年度は本格的な屏風調査で現地に行き、2年間国際交流員が調査した。その後できていない。担当された研究者が亡くなったことも影響している。後任の研究者も継続できないとのことで、現在は、別の後任研究者を紹介してもらっている。</p> <p>いずれにしても、目的を定めずにただ調査を続けるわけにもいかない。政策的な位置付けを明確にしていきたい。</p>
委員	ひだまり庵事業について、事業の概要で高齢者から乳幼児までと書いてあるが、乳幼児との交流はない。
住民福祉課	ご指摘のとおりであり多世代交流はできていない。現状は光熱水費の予算である。
委員	近くのあいあいの家とも交流すべきではないか。
委員	平成23年度で林業の3つの補助事業が終わり、杜づくりの予算がスタートしている。生産森林組合は4つあって、今後の経営の方向を検討している。ナラ枯れを伐採するとなると、補助の受け皿は生産森林組合として要望すればよいのか。
産業建設課	ナラ枯れ伐採に対する補助は県の補助金であり、県全域が対象となる。ナラ枯れは、原則的には森林所有者で伐採してもらわなければならないが、道沿い等不特定多数の市民が通行等するところは市民の安全確保のため実施している。
委員	県補助なので、市全体の森林が対象になるということか。伐採主体は誰か。
産業建設課	本来は、生産森林組合が業者登録し、生産森林組合が入札に参加できればよいと思う。集落で森を守るような事業は別と考えてほしい。
委員	ナラ枯れ伐採経費は何に使うのか。

産業建設課	実施者に委託料として支払う。
委員	スクールバスについて、どのように運用されているのか。
地域振興課	<p>教育総務課のスクールバスは、義務教育について通学距離が遠い人を運搬している。</p> <p>市の公用バスは、その他にもいくつかあり、通園バスは安土のみ運行で2台ある。福祉バスは福祉目的で利用される。その他、赤こんバス、議会バス等、それぞれの目的に沿って運行されている。</p>
委員	<p>国際交流員が退職した。イタリア語ができるのは彼だけだった。近江八幡市はグランドラビッツやミリヤンなどの姉妹都市があり、外国語に堪能な人材が必要である。国の補助事業を活用し CIR を召致した方がよい。検討してほしい。</p>
委員	安土の国際交流事業について、来年度はないのか。
事務局	まちづくり支援課に移管する。
委員	<p>安土支所だけで事業を持っていたから予算を削減されたと思う。本庁の国際交流事業に含まれていたら削減されなかったのではないか。</p> <p>合併して既存の事業を活かすということをしていかなければならない。</p>
会長	<p>市全体で考える必要がある。検討してほしい。地域自治区に関する予算については、前向きに検討してほしい。</p> <p>公有地の管理について、大中の湖南遺跡は県が管理しているが雑草が生えたままになっている。観光振興の障害になる。県とうまく連携してほしい。</p>
地域自治区長	昨年度から大中の湖南遺跡の除草は予算が削減され、城郭調査研究所の県職員が除草していると聞いている。県、市どちらが除草するにしても予算がない。
委員	縦割りの市や県の管轄を議論していたらまちづくりは進まない。まちづくり協議会で実施するなど知恵を出してほしい。
事務局	本会から提言するという方法もある。
会長	安土支所敷地内の除草はどうしているか。

事務局	斜面等の困難な箇所は業者委託したが、それ以外は支所職員で対応している。
会長	この件については、今後も引き続き進捗を確認していきたい。 次の議題は、合併協定項目の未調整項目についてであるが、時間の関係もあり次回の課題としたいがよいか。
	(全員異議なし)
	次に、まちづくり協議会の進捗状況について地域振興課より報告願いたい。
地域振興課	(資料に基づき説明)
地域振興課	(資料に基づき説明)
委員	ビオトープコンサートの実施主体は誰か。
地域振興課	老蘇小学校 PTA が主催してきた。まちづくり協議会がどう関われるか議論している。実行委員会という大きな傘を作り、その中に、PTA、まちづくり協議会、自治会が入って計画を進めている。
会長	伝統文化のつどいは、今年、奥石神社を会場として行われる。まちづくり協議会としても共に盛り上げていこうということだ。
委員	老蘇学区まちづくり協議会は、構成団体が多い。安土学区でもぜひ、多くの団体を入れてほしい。
地域自治区長	安土支所だけでは進まない事業もある。また、観光や文化事業はこのままでは先細りするかもしれないという心配もされている。屏風や信長サミットなど、皆さんの要望があれば本会でも研究の場を持ちたい。
会長	本日の議事は以上なので、閉会にあたり岡山副会長に挨拶をお願いする。
副会長	(あいさつ)

【終了 17:40】

会議録作成

近江八幡市安土町地域自治区事務所
地域振興課 地域振興グループ

TEL: 0748-46-3141 FAX: 0748-46-5320

E-mail: 390100@city.omihachiman.lg.jp